

秋田市学校適正配置

# 中央地域ブロック協議会だより

第3号

令和2年1月23日(木)18時30分から、中央市民サービスセンターにおいて、  
第3回中央地域ブロック協議会を開催しました。

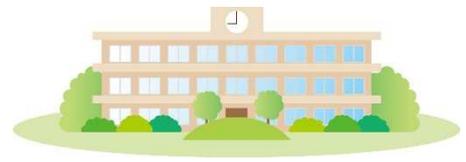


## 第3回中央地域ブロック協議会の協議内容

協議会では、前回、教育委員会が示した小・中学校の統合の組合せ(案)に対して、各所属団体等で話し合われた内容について紹介していただき、委員間で意見交換を行いました。

### <議題>

- 中央地域における小学校の組合せについて



### <今回の協議で決定した事項>

#### ★中央地域ブロック協議会内に、小委員会を設置し、今後の進め方を整理する★

- 中央地域における個別事項の検討を効率的に行うため、協議会内に小委員会を設置し、問題点を洗い出しながら、今後の進め方を整理する。

#### ★次回以降も、引き続き意見交換を行う★

- 小委員会において整理した進め方(案)を協議会に報告し、次回、引き続き意見交換する。

### <学校統合の組合せ(案)に関する主な意見等>

- 前回の協議会で示した学校統合の組合せ(案)に対する主な意見等は、以下のとおりです。

○寺内小学区町内会連合会では、児童の減少が進むのであれば、八橋小との統合はやむを得ないとの意見があった。

○寺内小PTAからは、特段反対の意見はなかったが、具体的に統合する時期を明確にしてほしいという意見があった。

○八橋地区町内会連合会では、八橋小から分離した寺内小との統合には反対はないが、八橋小の校舎の老朽化を心配する意見があった。

○泉中PTAとしては、教育委員会が示した学校統合の組合せ(案)には異論はなく、学区の再編などの個別の問題は当該校の関係者で協議していただきたい。

○教育委員会が示した学校統合の組合せ(案)では、保戸野小と秋田南中が、適正規模を満たしていないことから、もう一度、統合案を見直していただきたい。

裏面につづく

○川尻小学区から旭南小や旭北小に通っている児童もおり、学区を再編するとすれば、地域で活動する各種団体もそれぞれ学区の変更に合わせてなければならないと思っている。

○中通地区と築山地区は、樫山コミセンを中心に交流していることから、中通小と築山小の統合の方向性が見えてくれば、協議の場を設けることができる。

○旭北小PTAでは、積極的な学区の見直しを希望しており、学区の飛び地や通学路の安全の問題を解決した上で、協議を進めるべきと考えている。  
○旭北地区としては、旭南小との統合には大きな反対はない。

○築山小の保護者からは、友人関係が早く築かれるという理由から、小中一貫校の設置案も出ている。一方で、子どもが成長するためには、複数の小学校の児童が中学校で一緒になるメリットもあるという意見がある。

○旭南小PTAでは、旭北小と統合し、全員が山王中に進学できることには、賛成であるが、その場合、山王中がマンモス校となり、秋田南中の規模が縮小することを危惧する。

○山王中PTAからは、より安全、快適に学校生活が送れるよう、実際の通学距離や時間を踏まえ、中学校を中心とした新たな学区の再編に向けて、客観的に協議を進めていただきたい。

○旭南小学区の新島地区から、大住小に通っている児童もいるが、学区の再編は、個別に検討するテーマであることから、まずは、学校の組合せの協議を進めるべきではないか。

○中央ブロックにおける個別事項の検討を効率的に行うため、ブロック協議会内に小委員会を設置し、これまでの協議内容を整理するとともに、今後の進め方を検討したらどうか。

※その他「保戸野小学区には、潜在的な子どもはいるが、秋大附属小への入学者が多い。」  
「歴史のある学校は、地域とのつながりが密接であることを考慮して進めるべき。」などの意見がありました。

## 第 4 回中央地域ブロック協議会の開催予定

日 時：令和 2 年 6 月頃

議 題：中央地域における学校の統合について 等

※協議会の日程等が決まり次第、広報あきた等でお知らせいたします。



## ●お問い合わせ先●

秋田市教育委員会学校適正配置推進室 秋田市山王一丁目 1 番 1 号

○電話 018-888-5812 ○FAX 018-888-5804 ○e-mail [ro-edaz@city.akita.lg.jp](mailto:ro-edaz@city.akita.lg.jp)

<https://www.city.akita.lg.jp/kyoikuiinkai/1010626/1021066.html>

※地域ブロック協議会で提示した資料は、市のホームページで公開しています。